

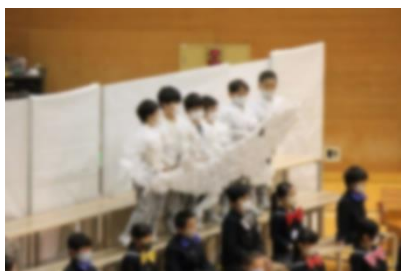
学芸発表会 低学団のようす

低学団の学芸発表会は実行委員会の児童がサブテーマを考えるとところから始まりました。今年のサブテーマは「どんなときも心をひとつに つながろう」でした。感染予防対策をしながらの学校生活で、今までどおり生活できないことや、自由に友達と関わることができない環境の中での子どもたちの思いが詰まったサブテーマになりました。4年生の実行委員が中心となって、プログラムやサブテーマを作成しました。



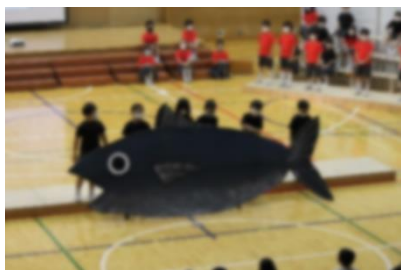
【1年生の部】 『くじらぐも』

1年生にとっては初めての学芸発表会でした。国語科で学習した「くじらぐも」の朗読劇を発表しました。アリーナ2のような大きな場所でセリフを言う経験が今までなかったため、大きな声を出す練習から始めました。感染予防対策のため、学年全体で歌うことができず、一つの曲をいくつかのパートに分けて歌いました。曲数も多く自分が歌うパートを覚えることだけでも大変でした。「小学生になったからレベルアップしよう!」と気合を入れて、きれいな声を出せるよう練習しました。本番ではどの子も自信をもってセリフを言ったり、きれいな声で歌ったりすることができました。



【2年生の部】 『スイミー』

国語科で学習した「スイミー」を発表しました。4月の入学式アトラクションで披露できなかった合奏曲を加えての朗読劇でした。朗読劇のため、身振り手振りを付けずに登場人物の気持ちを表現することに苦戦しました。『大きな声を出さずに悲しさを表現するにはどうしたらいいのか・・・』などを考えながら練習に取り組む姿を見て昨年からの成長を感じました。昨年度から一生懸命練習してきた合奏と考え悩みながら練習した朗読劇を発表したあとの子どもたちは達成感に満ち溢れていました。



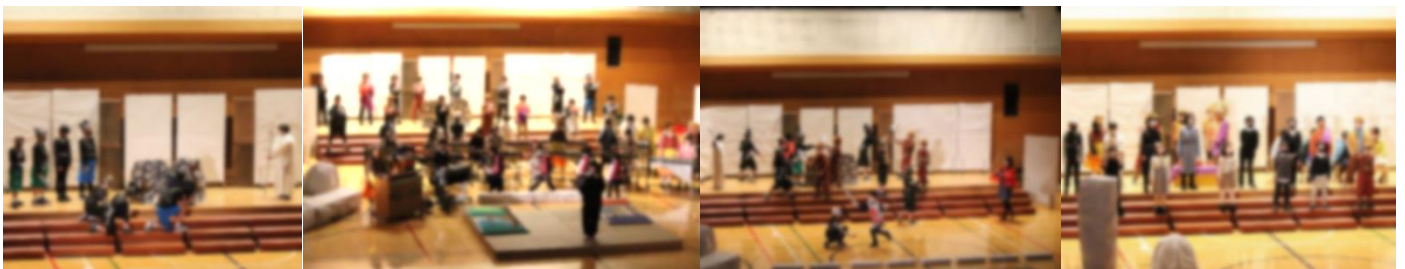
【3年生の部】 『アラジン』

新型コロナウイルスの影響で、楽器の練習期間が短い中で難しい合奏2曲を含めた「アラジン」を発表しました。昨年よりも登場人物の気持ちを考えてセリフが言えるようになり、アグラバの世界を上げることができました。子どもたちみんなが「アラジン」を好きになり、ほとんどのセリフを言える子がたくさんいました。今年の学芸発表会の経験を今後に生かすとともに、登場人物のアラジンのように『ありのままの自分』を大切にしてほしいです。



【4年生の部】 『ナルニア国物語』

4年生は「ナルニア国物語」を劇の演出から道具、衣装まで自分たちでアイデアを出し合いながら、作り上げた劇を発表しました。感染防止対策として、少人数で劇が進められるよう場面設定を多くしました。道具の位置を変えることや移動が多くなりましたが、子どもたちが自発的に動くことが増え、自ら考えて動く力が身に付きました。練習の期間から本番まで、やる気に満ち溢れ子ども一人一人が輝いていました。発表後、みんなが「楽しかったあ。」と大満足の様子でした。今後は立志式に向けて自分たちで考えて作り上げる力を発揮してほしいです。



【全員合唱】 『笑顔の花が咲くように』

全体合唱では、各学級が合唱している様子を動画で撮影し、それを組み合わせて一つの動画に編集しました。今年度、全員合唱で歌った「笑顔の花が咲くように」は「コロナ禍でいつもと違う今日だけど、不安なことも、さみしいことも続くけど、勇気をもって進めば、きっと強くなれる！空に向かって歌えば、きっとつながっている！」などのたくさんの思いが込められた歌です。例年とは違う形での開催でしたが、子どもたちが考えたサブテーマのように、どんな状況でも心を合わせて支え合えるよう学芸発表会を通して一人一人が身に付けた力を今後も発揮してほしいです。

